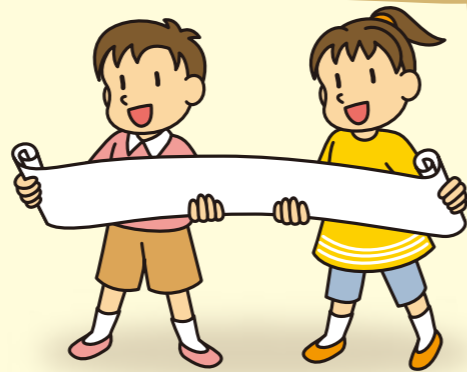


「私たちの政府」宣言

藤沢市では、「市民集会」や「くらしまちづくり会議」など、市民のみなさんによる活動が30年以上つづけてきました。また市民のみなさんが中心となって活動されている自治会や町内会、市民活動団体、ボランティア及びNPOなどの活動も大変活発におこなわれています。さらにいま、新しい市民自治のしくみとして「地域経営会議」を中心とした、地域のまちづくりがはじまっています。



こうした、市民のみなさん、地域のみなさんと行政が協力し合い、藤沢の未来をともにつくるための課題「ふじさわ未来課題」にたち向かうしくみを、藤沢市では「私たちの政府」と名づけました。

目標としているのは、私たちの子や孫、そしてずっと先の世代まで「藤沢に住みつづきたい」と思えるような、豊かでくらしやすいまちづくりです。

「私たちの政府」を実現させて、自分たちでみぢかな公共のしくみをつくり、よりよい藤沢づくりへとつなげていく。それがこの総合計画がめざしている未来です。

市民のみなさん、地域のみなさんと行政の新たなしくみ「私たちの政府」を、ともに築いていくことを、私たちはここに宣言します。

私たちの政府ですすめる藤沢づくりとは

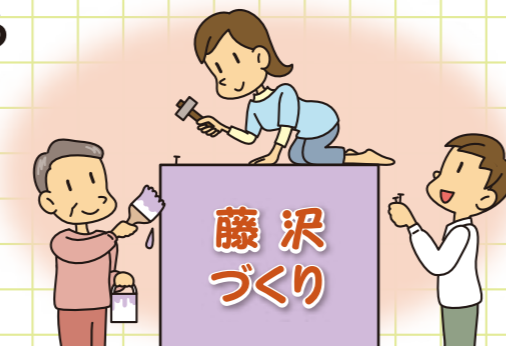
1 生活者の実感で進める藤沢づくり

まちづくりをすすめていくためには、藤沢でくらし、はたらき、学ぶひとたちの、生活者としての“実感”を知ることが大切です。そのうえで藤沢の未来をともにつくるための「ふじさわ未来課題」を明らかにし、みなさんが知恵を出し合い、役割を分け合ったり協力し合うことで、必要なものや新しいしくみをつくり出しながら解決していきます。そして、その結果をさらに調べたり、改善することが、未来の「藤沢づくり」につながります。



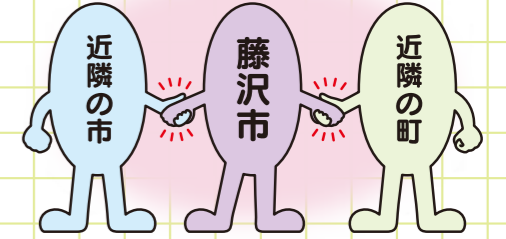
2 市民力、地域力そして行政力を発揮する藤沢づくり

市民力と地域力が藤沢づくりの最も基本となる大きな力です。「未来を考え、いま行動しましょう。」の考え方のもと、みなさんが主体となり藤沢づくりがすすめられることが大切です。行政は行政の役割をしっかりとない、そして藤沢づくりをすすめていくためのみなさんのパートナーです。



3 私たちの政府による自律と協働の藤沢づくり

藤沢市では、各地区の地域経営会議や市民センター・公民館を中心に、「地域分権」をすすめるとともに、同じ課題をかかえた地区どうしは協力し合います。また、藤沢市の中だけでは解決できない共通の課題は、隣の市や町と協力し合う広域連携をすすめることで、さまざまな課題を解決していきます。



地域分権

藤沢市では、市民センター・公民館の予算と権限などを拡大することを「市内分権」とよびます。さらに、地域経営会議と市民センター・公民館が、市民のみなさん、地域のみなさんと協力し合い、地域のめざす方向性を明らかにし、それぞれの役割と協力により地域づくりをすすめていくことを「地域内分権」とよびます。これらを合わせて地域分権とよび、積極的にすすめていきます。

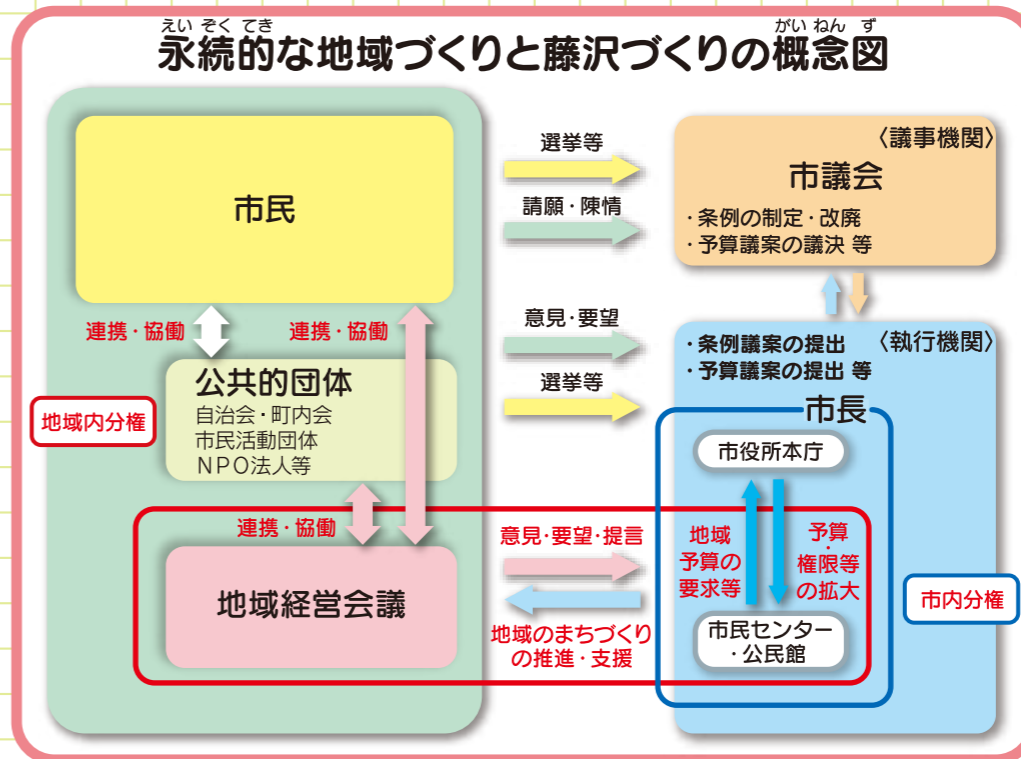
地域分権



私たちの政府による永続的な地域づくりと藤沢づくりのしくみ

地方自治では、市長と市議会議員は、それぞれが市民のみなさんの選挙により決められます。市長と市議会は互いに独立した関係に立ち、チェック・アンド・バランスの作用によって市民の利益を確保することが期待されています。私たちは、この地方自治のしくみをもとにして、「私たちの政府」による新たな地域づくりと藤沢づくりをすすめていきます。

永続的な地域づくりと藤沢づくりの概念図



地域経営会議は、地域の課題、地域のあり方、将来の方向性等について、地域の市民のみなさんと協力し合い、さまざまな意見の集約をおこない、課題の解決に向け地域づくりをすすめます。行政は、市民のみなさんから、市の計画、事業等について、意見などをいただき、地域づくりと藤沢づくりをすすめるために必要な施策に反映します。また、行政は、地域経営会議に対して地域づくりと藤沢づくりをすすめるための支援等をおこないます。

※ 永続的な地域づくりと藤沢づくりを進めるしくみを、基本的な概念図として表現したものです。